

## 学校自己評価アンケート保護者様からのご意見への回答

(回答数 311／399 回答率 78%)

本年度も学校の取組に対して好意的・肯定的な意見を多数いただいている。一方で厳しい意見もいただいていますが、これらを真摯に受け止め、改善してまいります。今後も第六中学校の各教育活動へのご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。以下、保護者さまから寄せられたご意見、学校からの回答です。お読みください。

### ◎肯定的・共感的なご意見

教職員について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の抱えている問題を、担任の先生や教頭先生を始め、色々な方が一緒に考え、解決しようと寄り添って頂いていることにとても感謝しています。家族以外にも彼のことを真剣に考えててくれる人がいることにとても救われています。</li> <li>・いつも娘のために精一杯のご指導をいただき大変ありがとうございます。</li> <li>・担任の先生は、子供の事をよく見ていてくれていると感じる。</li> <li>・成長期の過程でいろいろありました。その都度担任の先生をはじめ、たくさんの先生方に親身になって支えていただきました。こうして過ごせるのも先生たちの支えがあってこそです。大変ありがとうございます。</li> <li>・先生方には、日々子どもたちのために対応していただいて感謝しています。</li> <li>・担任の先生だけではなく、関わっている先生方が常に気にかけてくれている事を分かっていて家庭でも話してくれます。とても有り難いと思っています。</li> <li>・友達関係で色々あった中、担任の先生が気にかけてくださり早めに解決出来た事に感謝しています。</li> <li>・進路についてそろそろ考えるよう伝えていますが成績が下がる一方でしたが、最近急にやる気が出たようで勉強に意欲的に取り組むようになりました。きっかけは分かりませんが、進路についても真面目に向かい合い、ちゃんと先生と話していることが分かったので少し安心できました。歳の近い先生にも話しやすいなどの良さはあるかと思いますが、進路指導にあたっては、歴の長いベテランの先生についていただけて、良かったのではないかと思います。</li> <li>・担任の先生が学級通信をこまめに発行してくださるので学校での様子が分かりとても助かっています。</li> <li>・困り事で担任に相談すると、子供の様子をみて、教科担任の先生にも話を聞いてくれて、その事で子供ともしっかり話をしてくれて、中学生だからとか自己責任とかで済ませたり野放しにせず、しっかり子供の事をみてくれて、その後の様子等連絡くれたりと、安心して任せられる担任の先生で良かったと思っています。</li> <li>・担任の先生に、テスト前、毎朝補習授業をしていただきありがとうございました。</li> <li>・いつも、親身になって娘に関わってくださり大変助かっておりますし、関わっていただいている全ての先生方に感謝でいっぱいです。親子ともども家の中でこんなに手厚く見て頂きありがたいと話しているところです。そういう関係性を築いてくださったので娘の夢として私も誰かの役に立ちたいと大きな夢を持つことができ嬉しい限りです。</li> <li>・いつも元気に笑顔で登校しています。本当にありがとうございます。</li> <li>・ご多忙な中でも先生方がこども達一人一人に意識を向けようとされるお気持ち、正解がみえない中でも最善をと思ってくださり動いてみてくださるお姿に生徒も保護者も救われている面が大きいと感じます。お陰さまで。</li> <li>・友達と色々あった時に、担任の先生が気付きお世話になりました。多感な時期に早めに声かけは助かりました。穏やかに日々を過ごしていると思います。</li> <li>・1番やりがいを感じ頑張っていた部活が引退の時期となり、引退後どうなるか心配していましたが、周りの先生方やクラスメイトにフォローしていただきながら、何とか高校受験に目を向けることができています。ありがとうございます。</li> <li>・娘はとても不安定な時があり、担任の先生をはじめ、教頭先生、相談室の先生にお世話になる事がありました。親にはなかなか言えない、言いたくない事もある中で感情が爆発してしまい、先生方にご迷惑をおかけしたと思います。娘の気持ちに寄り添って頂きありがとうございます。娘の気持ちを大切に家でも様子を見て寄り添っていきたいと思います。今後もお世話になる事があると思いますが、よろしくお願ひいたします。</li> </ul>
---------	--

楽しい学校について	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつも大変お世話になっております。子どもはいつも学校であった話を家で良くしてくれており、先生方の丁寧な指導を感じる事ができていると思います。勉強も、少しずつではありますが積極的に取り組める様になってきました。特に大きな問題を感じる事なく学校生活を楽しめていると思いますし、そのような雰囲気づくりを先生方がしてくださいたことに感謝いたしております。</li> <li>担任の先生がクラスで問題があってもうまくまとめてくれるので、クラスの雰囲気が良く、本人も楽しく学校に通えています。</li> <li>部活動が1番楽しいようです。学校に楽しみがあつて良かったです。</li> </ul>
学級づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつも大変お世話になっております。部活動の移行期間であることもあり、先生方と保護者と地域の方とで連携していくことも増えました。良し悪しも感じますが、子どもたちが部活を通して親睦を深めたり仲間を大切に思う気持ちを育めたりとありがたい活動の場であることには変わりないなあと思います。保護者もこの転機を前向きに受け止め、子どもたちの活動を応援していきたいと思います。</li> </ul>
わが子の成長について	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学が苦手で自分なりに学習しているものの、テストでもなかなか点数が取れず本人も悩んでいました。そこで毎日問題を解きノートを教科担任の先生に見てもらうことを數ヶ月続け1冊終わつたようです。先生も毎日お忙しい中、添削やアドバイスをしていただきとても感謝しています。テストになるとなかなか点数には繋がらず、先生に申し訳ない気持ちもありますが、親身に関わってくれる先生が多いことがあります。</li> <li>女子バスケ部のみんなで力を合わせ、上小4位をとるまでになり、がんばりました。</li> <li>学校生活の中で、自分の頑張りを認めてもらえた事で自信がつき、学習や部活動や生徒会活動等、昨年より前向きに取り組む様子が見られるようになりました。</li> </ul>
情報発信、ホームページ・お便り	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任の先生も学級通信を出してくれるでのクラスの様子などわかりとても安心しております。</li> </ul>

### ●疑問や要望、ご意見（青文字はいただいたご意見・要望・質問 赤文字は回答・改善案）

授業や学習について	<p>・テストの平均点の設定が低すぎるのではないか。テストの難易度等関係があるのか。</p> <p>○回答</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① テスト作成の基準について 本校のテスト(特に3学年総合テスト)は、『各都道府県の入試問題』の傾向と難易度を基準に作成しています。他校と比較して極端に難しくしている事実はなく、あくまで『入試で通用する力』を測るための指標としています。</li> <li>② 進路指導の根拠について 進路指導においては、校内の定期テストだけでなく、学力テスト(NRT 等)や、外部模試、卒業生の合否データや高校の募集定員、各年の出願倍率など、複数の多角的なデータを照らし合わせて判断しています。学校の数字だけで一方的にランクを下げるような指導はしておりません。生徒本人・保護者さまの志望と、合格可能性を客観的に照らし合わせ、最も納得感のある進路選択を支援しています。</li> </ol>
	<p>・家で宿題をする姿をほとんど見ない。生徒が出来なかつた箇所に絞った課題を出して頂ければ、復習する意味がわかりやすく、また取り組みやすいのではないでしょうか？</p> <p>○回答</p> <p>家庭学習についてのご不安、そして「テスト後こそが学びのチャンス」という大切な視点をご共有いただき、感謝いたします。テストの結果以上に「結果を受けてどう動くか」が学力向上の鍵であると捉え、学校でも以下のよう取り組みを目指しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① テスト後のふり返り学習: テスト返却時に「どこでつまずいたのか」を自己分析する時間を設けます。今後はさらに、正答率の低かった問題に対して「なぜ間違えたのか」というプロセスに焦点を当てた解説を充実させていきます。</li> <li>② 個別の課題設定について: 一律の宿題だけでなく、生徒が自分の苦手な単元を選択して取り組む「解き直し課題」や、eライブラリのドリル等を活用し、個々の習熟度に応じた復習ができる仕組みを紹介し、推奨していきます。</li> <li>③ ご家庭での連携 ご家庭でも「点数」よりも、「どの問題なら自力で直せそうか?」「次はどのような工夫してみるか?」といった、次の学習への行動につながる問い合わせをしていただけたら幸いです。お子様が「自分でできる!」という手応えを感じられるよう、学校と家庭で歩調を合わせて支援していくべきだと思います。</li> </ol> <p>・時々「学校に行きたくない」と話すことがあります。少し心配です。</p> <p>○回答</p> <p>お子様が本心を言葉にできる家族関係があること、そしてそれを学校に共有してくださったことに感謝いたします。「勉強の仕方が分からぬ」という不安は、「本当はできるようになりたい」という前向きな気持ちの裏返しでもあります。学校としては、お子様の心が少しでも軽くなるよう、以下の3つのステップで支援していきたいと考えています。</p>

	<p>①安心できる「居場所」の確保:</p> <p>登校した際、まずは無理に学習を進めるのではなく、お子様が安心して過ごせる環境(サポートルーム、担任との別室での相談など)を整えます。「学校に来られただけで素晴らしい」というメッセージを、全教職員で共有し伝えていきます。</p> <p>②自分にふさわしい「やり方」を一緒に探す</p> <p>「全部を完璧に」ではなく、「今日は10分だけ」「漢字3つ」など、お子様が『これならできる』と思える最小の目標を、担任や教科担任と共に設定します。タブレット端末の読み上げ機能や、図解の多い教材など、お子様に合ったICTツールや教材を模索していきます。</p> <p>③「できた」を即座に共有する</p> <p>小さなことでも達成できたときは、学校で精一杯認め、その様子を保護者様にもお伝えします。家庭と学校で「自分なりの精一杯の力を示すことができたね」という声を重ねることで、「自分は大丈夫だ」という自信を取り戻すきっかけにしたいと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真夏に校庭で陸上の授業は熱中症が心配です。</li> </ul> <p>○回答</p> <p>原則として6月末から9月上旬までが水泳の授業となります。それ以外の暑い時期に陸上を行う場合には、毎回授業時にWBGT(暑さ指数)計をチェックしたうえで行っています。暑さ指数が31以上になると運動は原則として中止ですが、今年度は暑さ指数が31以上になった陸上の時間はありませんでした。暑い日には適宜休憩を入れ、水分を摂ってもらいながら授業を行います。</p>
学校・学年・学級について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス替えによって学校に行きたがらなくなった。</li> <li>・委員会決めの際、教室の端から順番に委員会が決まってしまい、本人の希望した委員会が先に定員となってしまったため、立候補する機会を得られなかった。</li> </ul> <p>○回答</p> <p>① 学級編制と生徒の心のケアについて</p> <p>学級編制は、全体の人間関係や教育上の観点から慎重に行っておりますが、結果としてお子様が不安を感じ、不信感を抱かせてしまったことを重く受け止めております。今後は、新学級における人間関係づくりをこれまで以上にきめ細かく支援し、一人ひとりが安心して過ごせる居場所づくりに全力を尽くします。</p> <p>② 生徒会・委員会等の選出方法について</p> <p>公平性に欠ける進め方は教育活動として適切ではありません。今後は、全校で「希望者が定員を超えた場合の調整ルール」を統一・徹底し、生徒一人ひとりの「挑戦したい」という意欲を尊重し、納得感のある選出に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と夕方以降に連絡をとりたくても連絡の手段がないことが困る。</li> </ul> <p>○回答</p> <p>夜間のご連絡が難しい点について、上田市では教職員の勤務時間適正化のため、一律で19時以降を留守番電話設定としています。電話でのリアルタイムなやり取りが難しい時間帯については、totoru のメッセージ欄をご活用いただければ、翌朝に確認し、迅速に対応することが可能です。欠席・遅刻のどちらかにチェックを入れなければメッセージを入力できませんが、既に複数の保護者様から(「欠席や遅刻ではありません。○○についての連絡です」)などのメッセージを入れていただいております。保護者様のライフスタイルに合わせて連携できるよう、学校としても工夫を重ねてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今の時代に更衣室がないのはおかしい。</li> </ul> <p>○回答 男女別の更衣室は令和5年度2学期末に、体育館に既に整備しております。</p>
部活動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長部活では昨年のようにグランドの一部を開放していただけたら安心。</li> </ul> <p>○回答 延長部活の練習を行っている部活動が複数重なっている日などには考慮します。</p>
生徒指導について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏服への衣替えを早くしてほしい。</li> <li>・1年生がヘルメットを着用せずに自転車に乗っているのを見かけます。</li> <li>・身につけるもののルールが厳しく、自転車登校なのに満足な防寒対策ができない。</li> </ul> <p>○回答 服装のきまりについては気温や生徒の要望に応じて早めの対応を心がけていきます。</p>
設備環境について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の駐車場を更に安全に周りを見やすくしてほしいし、駐車場が少なすぎると感じる。</li> </ul> <p>○回答 スペースに限りがあるため、皆様には多大なるご不便をおかけしており、心苦しく存じます。今後も大規模な増設や整備は難しい見通しですが、行事の際は「近隣への駐車禁止」とともに「歩行・自転車での来校」や「乗り合わせ」へのご協力を改めてお願ひしています。限られた環境の中で、皆様が安全に行事をご覧いただけるよう、誘導の工夫などを検討してまいります。</p>
学校行事について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公開講座で入会機会を設けて欲しい。</li> <li>・年間計画を数回でしたが変更されてしまうと仕事の休みが取れなくなる。</li> </ul> <p>○回答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公開参観は(出前講座)は年に1回のもので、講座が継続するものではありません。地域クラブのような位置づけが必要でしたら学校にお声がけください。</li> <li>・暑さ対策、天候などによりミニ運動会など屋外の行事が設定日と変更になりました。検討途中で一度totoruでお知らせするなど配慮していきます。</li> </ul>

お便り・家庭連絡について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月末日発行の学年だよりに翌月の予定が掲載されているが、もっと早く連絡が欲しい。</li> <li>・バス通学生で下校時刻にバスがない事があり、送迎が必要な時がある。早目に予定表を配布して頂きたいです。</li> </ul> <p>○回答</p> <p>学年だよりの発行時期については、月暦の最終調整の関係で月末の発行となっていますが、可能な限り早めに発行したいと思います。緊急連絡の場合は、totoru やホームページ等でも配信しています。ホームページは毎日更新していますので、生徒の姿や学校、地域の皆様との関わり等についてぜひご覧ください。バス通生は、帰りの会にかかる時間がバスの時間と重なることがあるため、担任に申し出て時間に間に合うように学校を出てください。</p>
教職員について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA 作業への参加について、担任の先生によって説明に違いがあった。</li> </ul> <p>○回答</p> <p>今後は、学校行事や奉仕作業の際の呼びかけについて、教職員間で事前に共通認識を持ち、全校で統一した内容をお伝えすることを徹底いたします。また、お忙しい中で調整して参加してくださる皆様の思いを大切にし、納得感のある運営に努めてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の名前を呼び捨てにするのは良くないと思う。</li> <li>・平均点を他クラスと比べて伝えているのは、なぜですか。</li> <li>・生徒の気持ちを考えているとは思えない発言をされている先生がいるようだ。</li> <li>・自分なりに考えて意見しても真剣に聞いてもらえないと言う事が何回かありました。</li> </ul> <p>○回答</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 教職員の言動および生徒への接し方について どのような状況であっても、生徒の尊厳を傷つける言葉や、学習意欲を損なう発言は、教育活動においてあってはなりません。本校では全教職員に対し、改めて「生徒一人ひとりに寄り添った言葉掛け」と「自律した指導の徹底」を確認いたしました。生徒が「先生に話を聞いてもらえる」「大切にされている」と実感できる環境づくりに努めます。</li> <li>② 多角的な相談体制の構築について 「担任以外の先生にも相談したい」「より深く内面を見てほしい」というご要望をいただきました。既に教育相談等で担任以外の職員とも相談できる機会を設けていますが、学年を越えて養護教諭、スクールカウンセラー等が連携した「チーム支援」による見守りが継続できるよう、この点について生徒にもさらに周知していきます。また、日々の授業や学校生活の中で、学習面だけでなく内面的な成長や変化に目を向け、適切なタイミングで承認・評価できるよう努めます。</li> <li>③ 進路・学習指導および評価について 本来、評価やテストは「生徒自身の成長」のために活用されるべきものです。周囲との比較を煽るような伝え方や、生徒の挑戦を否定するような指導は不適切であり、改善します。生徒一人ひとりが目標を持って学習に臨めるよう、前向きな動機づけを組織として行っていきます。</li> <li>④ 学校と家庭の連携の強化について 保護者懇談や授業参観日以外でも、気になる点がありましたら電話やお子様の生活ノート「TSUNAGARU」に連絡を書いていただくなど、迅速かつ密に情報交換ができるようにしたいと思います。ご家庭と学校が同じ方向を向いてお子様を支えていくよう、開かれたコミュニケーションを大切にていきます。</li> </ol>

(自己評価整理分析：教務主任 編眞 泰正 回答文責：教頭 富山 貴子 但 第六中学校 0268-22-5013)

保護者の皆様へ

学校自己評価回答に際しまして多くのあたたかなご意見をいただきました。今年度、特徴的なことは「ありがとうございます」というお言葉をより多くいただいたということです。改めて職員一同感謝いたします。「肯定的なご意見」について、「いつもありがとうございます」というお言葉は割愛していますが、それ以外はご回答いただいたコメントをそのまま載せています。裏面には「疑問や要望、ご意見」についての回答を掲載しました。こちらにつきましては、個人情報や人権への配慮により、生徒・保護者名や場面・状況が一読して分かってしまうものを除きました。職員会では生徒の自己評価とともに、保護者様の回答をすべて扱い、改善点や今後変更・更新していくことが必要な点について話し合いました。今後もご忌憚のないご意見をお願いいたします。最後にお願いですが、学校では「わからない」という回答を更に減らしていく努力をしていきます。学級・学年・学校だよりや tetoru の連絡配信、ホームページ(毎日 1 題更新)などをご覧いただき、お子様や学校を取り巻く環境についてより知っていたければと存じます。2 学期も数々の教育活動へのご協力ありがとうございました。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。